

津波から身を守るために

気づき、考え
実行しよう

質問

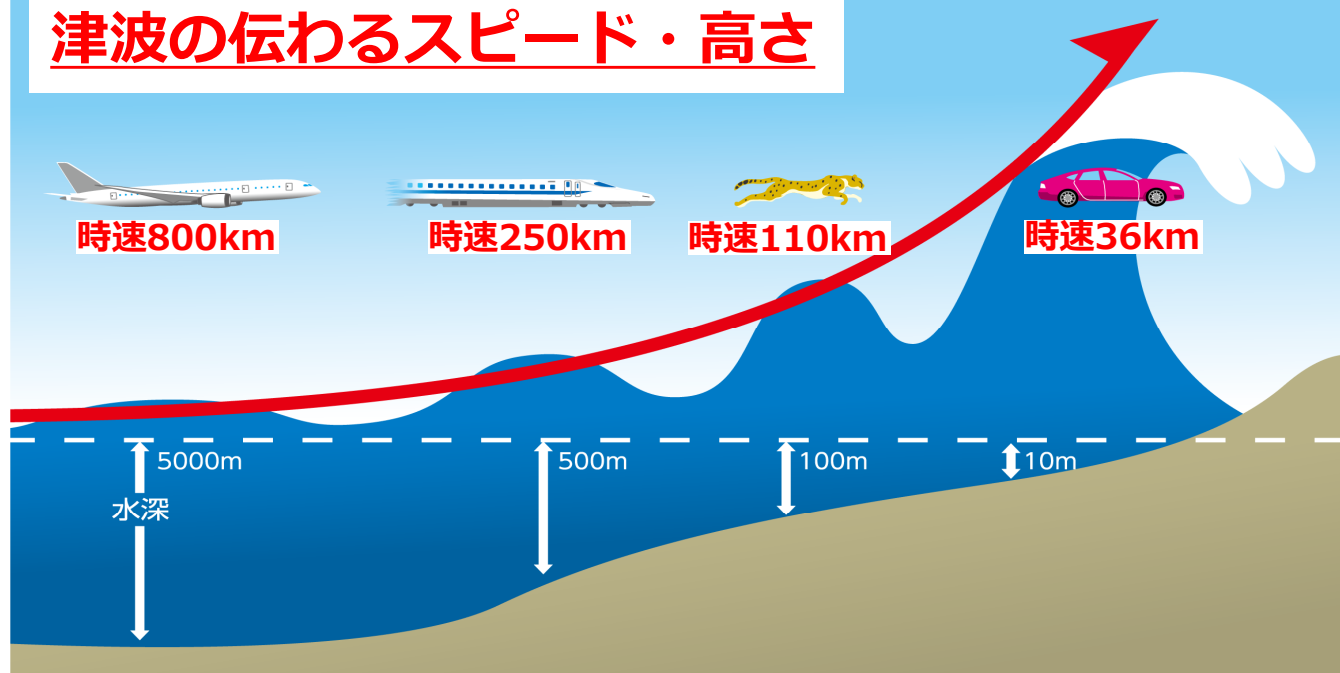
【I 津波とは？】

次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波を見てから逃げてても間に合う。
- ② 津波の押し寄せるスピードは人間が走るよりも速い。
- ③ ひざ下くらいの高さ（水深約20～30cm）の津波なら危険はない。

* 正解は、次の文章・図の中に書かれています。

津波の伝わるスピード・高さ



ポイント！

津波のスピードはとても速く、津波を見てから逃げ始めても間に合わない。津波の破壊力は強く非常に危険。

豆知識



津波の力

津波の力はとても強く、家や車をあっという間に押し流してしまいます。津波による水の深さが20cmくらいでも、速い流れに巻きこまれてしまうことがあります。また、1mを超えると、家がこわれ始めます。

考えてみよう！

津波はすごいスピードでおそってきますが、逃げる前に一度家に帰って家族に会いに行ったり、大事なものを取りに行ったりすることができるでしょうか。

答え



津波から身を守るために

【I 津波とは？】

津波の恐ろしさ、仕組みについて学習します。

地震により海底が盛り上がるなどして、押しのけられた海水が周囲へ伝わるのが津波の正体です。このため、海岸に近い場所で大きな地震が起きた場合、短い時間で津波がきます。岬の先端やV字型の湾の奥などの地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。

津波発生仕組み①→②→③→④



東日本大震災時の津波被害の様子

もう少し、
しっかり学
ばせたい！

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：②

・考えてみようの答えについて

過去の津波災害では、家族の様子を見に戻ったり、大切なものを取りに家に戻ったりして、津波の被害にあうことがくり返されています。

家族は無事かな？大事にしているものを失くしたくないなと思い、家に戻ることによって逃げおくらせてしまうのです。家族みんなが助かるためには、自分も家族もそれぞれが安全な場所を目指して逃げるのが重要です。